

## 第1回角田市上下水道事業運営審議会会議記録

日時：令和7年10月29日（水）午後3時～午後4時

場所：角田市役所401会議室

出席委員：荒木委員、中嶋委員、古積委員、島津委員、高橋委員、鈴木（文）委員、  
鈴木（淑）委員、笹木委員 以上8名

市出席者：角田市長 黒須 貫

事務局：上下水道事業所長、参事兼技術次長、事務次長、技術次長兼下水道施設係長、経営  
管理係長、経営管理係主事

傍聴者：なし

### ○内容

#### 第1回審議会

##### 1 開会及び市長から委員への辞令交付

新たに着任した1名に辞令交付が行われた。

##### 2 市長挨拶

昨年度は下水道について計画を作成し、今年度は水道事業になる。選挙等でも色々な議論や誤った情報があるが、水道事業について、民間に全てを移譲しているということはない。技術的なところを民間の力で効率的に行い、お金が掛からないシステムにしていこうというのが県の動きであり、角田市ではどうしていったら良いのかということをご検討いただきたい旨が伝えられた。

##### 3 諮問

市長から会長へ、水道事業アセットマネジメント及び経営戦略の策定について諮問が行われた。

##### 4 議事

事務局より次の内容について説明が行われた。

- (1) 令和6年度水道事業及び下水道事業決算について
- (2) 水道事業アセットマネジメント及び経営戦略について

説明後、会長より委員へ質問、意見等について諮られ、以下のとおり受け答えが行われました。

会長 アセットマネジメント計画、経営戦略の策定について、最終的には冊子を作成して答申するということが良いか。

事務局 はい。また、内容について有識者から妥当性について意見を頂くこととなっている。

会長 11月となるが、アセットマネジメントについては既に進行しているという理解で良いか。

事務局 はい。これらの事業に係るコンサルタント事業者とは6月に契約を締結している。アセットマネジメントについては作成に時間を要すが、完了に近づいている。基礎データの集計をしているが、今回はある程度目に見えるような形のものが出来る予定となっている。

会長 コンサルタントである程度の整理がされ、12月下旬の運営審議会で説明の後、良し悪しを検討し、年明け2月上旬にはパブリックコメントを経て、最終的にそれらを詰めた段階である程度確定したものを3月中旬に意見と併せて答申を行う、というイメージで良いか。

事務局 2月上旬の審議会ではある程度の完成品というわけではないが、早い段階で出したいと考えている。

会長 作業の進捗状況について了解した。

委員 建設改良事業について、ドラッグストアまでで終了するのか。また、区長への連絡がないことについて。

事務局 国の補助金により工事を行っており、分けているが続いていく。区長への連絡を行うようにする。

委員 有効水量の19%ロスについて良いのか。また、幹線道路などで漏水により空洞化しないのか。

事務局 市内を4ブロックに分けて漏水調査を行っており、主要な大口径管路での漏水は無かったが、対応として圧力の測定などアセットマネジメントに盛り込んでいく。

委員 アセットは何年で行うのか。

事務局 1年（今年）で長期計画の中で改めていく。

委員 配水管で40年を超えたものはどの程度あるのか。

事務局 市内水道管路約300キロのうち2割程度。現在は、3キロ程度ずつ老朽管の更新を進めている状態。今後について、インフレ率など高騰化や社会情勢など相当程度に考慮する必要がある、最低でも10年の計画を詳細に作成する。

委員 水道管が老朽化しているが、飲用して大丈夫な状態なのか。

事務局 水質検査を行っているが、家庭の末端部での検査は行っていない。個別に検査を行うことは可能。

5 その他 特になし。

事務局 12月又は1月初めに運営審議会において素案をお示しする予定。